

#### 学校全体の取組

- ・ 空き教室の整理整頓をし、カメラなどを設置する場所がないようにする。
- ・ 盗撮されやすい場所の環境の整備、職場の規範意識の向上
- ・ 継続的なコンプライアンス研修
- ・ チェックリストの活用
- ・ 安全点検での細部の点検の徹底
- ・ 同僚性の向上（互いに気づける、言える関係性の構築）
- ・ トイレや更衣室の見回り
- ・ 「みんなが見ているよ」という雰囲気づくり
- ・ 専用更衣室の整備（各階に）
- ・ 安全点検を複数の教員で行う。

#### 教職員の取組

- ・ 生徒が盗撮の危険性にさらされている可能性があることを意識し、注意して巡視や環境整備を行っていく。
- ・ 生徒にも盗撮の危険性についておりにふれて話していく。
- ・ 不必要な撮影をしない。
- ・ 研修は自分ごととして参加する。
- ・ 校内の盗撮されそうな場所に何もなければ、気にする。
- ・ 取組を考えることも大事だと思いますが、なぜやってしまうのか、気持ちを考え、芽を摘む。
- ・ 不審物等を見かけたときにはすぐに管理職に報告する。
- ・ 教育公務員としての自覚をもち、学校内外でコンプライアンス意識をしっかりと持ち続ける。
- ・ 職員同士、同僚同士でコンプライアンス違反を絶対に起こさぬよう互いに声を掛け合う。
- ・ 絶対にやってはいけないという強い意志をもつ
- ・ スマホやカメラ、タブレットなどのデバイスの公私混同をしない。
- ・ 定期的に教室等を巡回し、確認して普段との変化に気が付くようにする。
- ・ 盗撮と疑われる行為を決してしない。